医療法人金澤会広報誌

青磁野リハビリテーション病院
せいじの健診センター
介護老人保健施設 青翔苑
グループホーム あおばの家
地域介護相談センター けあまっぷ城西
訪問看護ステーション城西
せいじのヘルパーステーション
サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの
熊本市西2地域包括支援センター

せいじの

平成26年7月 144号

地域と手を携えて
～患者さんが安心して過ごせる地域づくりをめざして～

今年は消費税の増税に診療報酬改定と、病院運営に大きな影響を及ぼす制度改定の年となりました。

特に診療報酬改定については、実質マイナス改定となるなかで、医療機関の機能分化と新たな連携体制・在宅医療への更なる取り組みなど、大きな変化を求められるものとなっています。

私が金澤会に入社して、今年でちょうど20年が経ちます。入社当時と比べると、事業所数・職員数も増え、法人自体も変化しています。ただ医療機関として当たり前のことですが、患者さんに安心して地域で生活していただく為に医療・福祉を提供し続けるという目的は変わりません。

今回の診療報酬改定では、地域包括ケア構想をもとに在宅復帰を指標とした項目が数多く出され、今までの病院機能・役割も大きく変わらざるを得ない内容になっています。

時代の変化に対応しつつ、病院としての本質を見失わず、患者さんにとってより良い医療を提供できるよう努めてまいりたい思います。

今後とも、ご支援ご指導のほどよろしくお願いいたします。

医療法人金澤会
青磁野リハビリテーション病院
事務部長
永田 範昭

せいじの１４４号

- 貧血と夏バテについて
- クローズアップ！ 青磁野リハビリテーション病院 医事課
- 在宅強化型老健施設について
- 地域連携ドクター紹介

貧血の予防と対策
～夏バテと思ったら実は貧血!?～

今年も暑い季節になり、すでに夏バテという方もいらっしゃるかもしれません。夏バテになると、自律神経の乱れにより、倦怠感・めまい・立ちくらみなどが出現しますが、実は貧血を合併している場合があり注意が必要です。

貧血の代表格、鉄欠乏性貧血

鉄欠乏性貧血の原因は、鉄の①摂取不足（ダイエット・偏食など）、②吸収障害、③　要の増加（妊娠・出産・成長期など）、④多量の排出（出血など）ですが、夏バテの時期は食欲低下により摂取量が不足し、また汗とともに鉄が流れ出ることで、鉄欠乏性貧血を引き起こしやすくなります。

鉄欠乏性貧血になると、一般的な貧血症状のほかに、異食症（カリカリ音のする硬いもの、氷などを無性に食べたくなる）や口角炎、舌炎、嚥下障害、匙状爪（爪が薄くなり反り返る）なども出現します。

貧血症状がある方は
病院で貧血の検査を受けて下さい

鉄欠乏性貧血になると食品からの鉄分摂取だけでは不十分であり、薬やサプリメントによる治療が必要なことも多いです。

また、別の原因で貧血になっている場合には、原因の検索やそれぞれの貧血に応じた治療が必要です。

さらに、貧血の症状があるからといって、やみくもにサプリメントなどで鉄分を摂取しすぎると、鉄が体に蓄積し肝臓や心臓、膵臓などに悪影響を及ぼすことがあります。

貧血の原因をつきとめ、適切な治療を受けるためにも、症状がある方は必ず病院で検査を受けてくださいね。

青磁野リハビリテーション病院
内科 医師
釘宮　倫子（くぎみや　みちこ）

クローズアップ！
青磁野リハビリテーション病院 医事課 編

私たち医事課は、外来担当６名・入院担当５名の計１１名の部署です。

業務内容は、受付・会計・診療費（入院・外来）の計算、診療報酬明細書（レセプト）の作成と、社会保険や国民健康保険等への請求などさまざまな業務を行っています。

ご来院いただいた際、最初にお会いするところが私たち医事課となります。病院の顔としての自覚を持ち、笑顔でスムーズな対応を心掛け、満足度の向上を目指し、気持ちよく来院していただけるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

地域に根差して在宅生活を支援する―

青翔苑は「在宅強化型老健施設」です

在宅強化型老健施設とは、積極的にリハビリテーション等を提供すると共に、在宅生活への復帰を促進し、その生活を継続的に支援している介護老人保健施設のことをいいます。

「在宅復帰」「在宅生活支援」という大きな理念と役割を持った老人保健施設は、昭和63年度から本格的に始動し、平成26年現在、全国に3900を超える施設が開設運営されています。この間に我が国の高齢化は急速に進み、一人暮らしや認知症、介護の重度化等で住環境や介護環境も大きく変化し、老人保健施設の「基本方針」である「居宅における生活への復帰を目指す」こと十分に機能せず、入所期間が長期化している現状が　題の一つになっています。特に平成12年頃（介護保険導入前）までは、全国の老人保健施設の在宅復帰率は40%を維持してきましたが、平成22年9月の調査では23. 8%と低下し、30%を下回っています。

そのような中、平成24年度の介護報酬改定では、団塊の世代が75歳になる2025年に向け「地域包括ケアシステム」の構築を推進する改定が行われ、特に、自立支援型サービスの強化と重点化の観点から、在宅復帰支援型の老健施設の強化が推し進められました。その方向性として、①在宅強化型（新設された基本施設サービス費）と、②在宅復帰・在宅療養支援機能加算が新たに創設されました。

当法人が運営する介護老人保健施設「青翔苑」も、平成２４年４月より在宅強化型老健として運営しております。

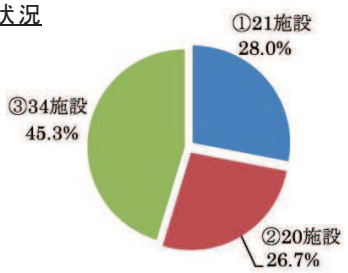
これからも変わることなく良質なケアの提供とサービスの質の向上に努め、地域に根差した在宅生活を支援する拠点としてお役に立てるよう取り組んでまいります。

＜主な用件＞

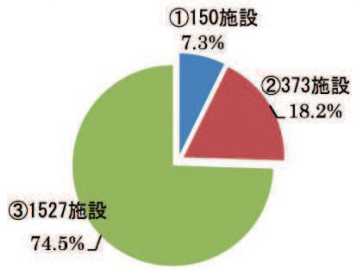
	①在宅強化型老健施設	②在宅復帰・在宅療養支援機能加算算定施設
在宅復帰率	５０％を超えていること	３０％を超えていること
ベットの回転率	１０％以上	５％以上
重度者要件等	要介護４又は要介護５の利用者が３５％以上であること　等	

※「在宅復帰率」とは、老健を退所された方のうち、在宅（自宅・グループホーム・有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅等）に移られる方の割合。
※「ベット回転率」とは、30.4を平均在所日数で除した数値。

熊本県の状況



全国の状況



■①：在宅強化型老健　■②：在宅復帰・在宅療養支援加算取得老健　■③：①②以外の老健

平成25年6月の状況
（88会員施設中75施設が回答）
※最新の情報については、熊本県老人保健施設協会ＨＰをご参照ください
※熊本県老人保健施設協会平成25年度介護報酬改定関連加算算定状況に関する実態調査より

平成25年9月の状況
（3861施設中2050施設が回答）
※平成24年度調査時点の割合は、①5%、②20%、③75%
第99回社会保障審議会、介護給付費分科会資料より
介護老人保健施設の在宅復帰支援に関する調査研究事業

地域連携ドクター紹介

髙田千年クリニック

院長　髙田 千年先生

平成９年に開業して１７年になります。当初より、金澤知徳先生・金澤親良先生にはご指導・ご支援をしていただき感謝しています。

当院ではＭＲＩやＣＴ検査を用いた画像診断を特色として行っていますが、一般外来もさせていただいてます。外来患者さんの高齢化が進んでおり、リハビリや介護で青磁野リハビリテーション病院をはじめ介護施設にも大変お世話になっています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

診療科目　内科、放射線科
消化器内科、呼吸器内科

診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	—	○	○	—

日祝休診

【午前】8:30～12:00　【午後】13:30～17:00
【水・土曜日】8:30～13:00

所在地　熊本市中央区新町1丁目8-17
TEL 096-351-3005

外来診療担当表

平成26年4月～

≪受付時間≫　午前／ 8:30～12:00
午後／13:30～17:00

≪診療時間≫　午前／ 9:00～12:00
午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	竹内	第1･3･5 豊田
		石本	堀岡	岩本	岩岡	金澤尚	第2･4 菊川
		岩岡	上野	金澤尚	佐々木	安野	—
	午後	上野	竹内	堀岡	佐々木	高木	橋本
		釘宮	岩岡	(予約制)安野	(予約制)石本	—	—
整外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	徳安	—
	午前（リハ室）	徳安	徳安	徳安	徳安	金澤親	—
	午後	予約制					—

金澤会のデータ

（平成25年度）

病院診療情報

- 外来患者延数　36,894人（1日平均125.5人）
- 延べ入院患者数　75,921人（1日平均208.8人）
- 新入院患者数　719人
- 退院患者数　733人
- 平均在院日数（一般病棟）　16日

金澤会職員総数（平成26年7月1日現在）

常勤職員　409人
パート職員　123人
合計　532人（常勤換算462人）

●青磁野リハビリテーション病院 患者憲章●

患者様には次の権利があります。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 医療に関する説明や情報を知る権利
3. 選択の自由と自己決定の権利
4. 個人の情報が守られる権利
5. 尊厳を守られる権利

せいじの144号　平成26年7月
発行●医療法人金澤会
発行人●金澤 知徳
編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課
〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15
TEL096-354-1731　FAX096-354-1736
http://www.seijino.or.jp/
日本医療機能評価機構 認定第 JC1194 号
平成23年12月更新